

私の森.jp × 森づくりフォーラム presents

鹿と猪はこう食す！

知りたい森と獣害のこと

2019.04.06 Sat

14:00-17:00



- ◆ Lecturer 石崎英治さん／株式会社クイージ代表取締役
- ◆ Listener 水谷伸吉さん／一般社団法人 more trees 事務局長
- ◆ Place グラム・デザイン／私の森.jp カフェ・スペース
(東京都目黒区東山東山3丁目9-2 Isola A)

森から人へ 人から森へ 第14回



日 時：2019年4月6日(土) 14:00～17:00

参加費：3000円(イノシシ肉のキーマカレー付)

定 員：25名

「鹿と猪はこう食す！知りたい森と獣害のこと」

今、森林率が7割り近くを占める日本のあちこちでイノシシやシカ、クマといった野生動物が出没し、その生息数の増加、生息域の拡大によって「獣害」という社会問題が発生しています。一方で狩猟を通じて得られる、そうした野生動物の肉 = ジビエは、地域の資源として価値が見直され普及への期待が高まっています。

今回は獣害問題に端を発し、ジビエ肉供給ビジネスを実践している石崎さんの取り組みや、実際にジビエを食べる体験も通じて、獣害と森林の状況、そして地域資源としてのこれからのジビエについて考えたいと思います。

◆講演者

石崎英治さん（株式会社クイージ代表取締役 / 株式会社 おおち山くじら 代表取締役）



1978年生まれ。北海道大学大学院農学研究科で林学を修めるが、研究フィールドの天然林がひと冬でエゾシカに食いつくされたのを見て、研究対象を森林からシカに変える。国内狩猟肉の製造や卸売業を営むかたわらで、シカやイノシシなどの野生獣肉を〈伝統肉〉と再定義した「NPO 法人伝統肉協会」理事長として、獣肉食文化の普及啓発にも尽力中。

◆聞き手

水谷伸吉さん（一般社団法人 more trees 事務局長）



1978年東京生まれ。慶應義塾大学経済学部を卒業後、2000年より株クボタで環境プラント部門に従事。2003年よりインドネシアでの植林団体に移り、熱帯雨林の再生に取り組む。2007年に坂本龍一氏の呼びかけによる森林保全団体「more trees」の立ち上げに伴い、活動に参画し事務局長に就任。森づくりをベースとした国産材の利用促進のほか、カーボンオフセットや地域活性化なども手掛ける。

【会場】

有限会社グラム・デザイン / 私の森.jp カフェ・スペース

〒153-0043 東京都目黒区東山 3-9-2 Isola A

東急田園都市線 池尻大橋駅 徒歩5分

改札口を出て右、東口の階段を登ります。東口を出たらガソリンスタンド手前の道に入り、道なりに5分程歩いて抜けてください。セブンイレブンを過ぎて、最初のオフィスビル・東急池尻大橋ビルの向いに、1Fが駐車場になっている小さな建物があります。郵便受け横の階段で3Fへお越しください。



【参加申し込み書】

FAX：03-3868-9536 森づくりフォーラム宛

<4月6日(土) 14:00～17:00> 森から人へ人から森へ 社会学研究会連続講座 第14回

ふりがな

氏名：

TEL：

Eメール：

所属：

(個人会員 ・ 団体会員 ・ 非会員)

懇親会： 参加 ・ 不参加

※懇親会は17:00より同じ会場で行います。1ドリンク・軽食付き500円(2杯目以降は別途料金がかかります)

※上記のことが記されていれば、Eメール (office@moridukuri.jp 宛) でも参加申込みできます。